

## 静岡赤十字病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

承認番号 研究課題名	NO 2020-28 上気道疾患の診療に関する多施設共同研究
当院の実施責任者研究及び職名	耳鼻科 部長 川崎 泰士
他の研究機関および各施設の研究責任者	慶應義塾大学耳鼻咽喉科学教室 若林健一郎（研究代表者） 杏林大学医学部耳鼻咽喉科学教室、済生会宇都宮病院、東京医療センター、国立成育医療センター、新百合ヶ丘総合病院、済生会中央病院、川崎市立川崎病院、横浜市民病院、立川病院、済生会横浜市東部病院、日野市立病院、けいゆう病院、平塚市民病院、栃木医療センター、佐野厚生総合病院、足利赤十字病院、稲城市立病院、北里研究所病院
研究期間（西暦）	2010年4月から2020年3月まで
研究の目的	上気道は鼻副鼻腔、舌・口腔、咽頭、喉頭で構成される連続した管腔臓器で、嗅覚・味覚といった感覚やコミュニケーションに関わる音声・言語、生命維持に密接に関わる摂食・嚥下など重要な機能を担っています。これらの機能が失われると、嗅覚・味覚障害や嚔声・発声不良など大きくQOLの低下をきたし、誤嚥による肺炎・窒息は致命的となる可能性があることから、上気道疾患の病態の解明や治療法の検討が重要であるといえます。そこで慶應義塾大学病院耳鼻咽喉科および関連病院で診療を行った上気道疾患の症例を集積する多施設共同研究を行い、病態の解明や新しい治療法の開発に役立てることができると考えています。
研究の内容	診療録より氏名、診療情報の収集と解析をします。この中には各種検査（血液、生理、画像、病理など）の結果の検討、治療法および治療による改善度の評価などが含まれます。具体的には風邪に引き続いて起こりやすい急性副鼻腔炎という疾患がありますが、この疾患にかかった患者さんの血液検査、画像検査（CTなど）、治療薬によって改善の早さや副作用に影響があったかなどを解析する予定です。本研究の実施期間は

	研究実施許可日（通知書発行日） ～ 2030 年 3 月 31 日（予定）。
個人情報の取扱い	試料の匿名化：有り（慶應、静岡赤十字） 連結表管理：慶應義塾大学耳鼻咽喉科学教室
問い合わせ先 （拒否等受付窓口）	<p><b>【研究担当者】</b></p> <p>所属：静岡赤十字病院 耳鼻科</p> <p>氏名：耳鼻科部長 川崎 泰士</p> <p>住所：静岡県静岡市葵区追手町 8-2</p> <p>電話：054-254-4311</p>